

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム (仮称)三九階	階数	地上3F	
建設地	愛知県豊田市本町九丁目59-1	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域 防火指定なし(法2)	平均居住人員	147 人	
気候区分	5地域	年間使用時間	3,650 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年9月5日	
敷地面積	4,548 m ²	作成者	山田健博	
建築面積	2,009 m ²	確認日	2018年9月6日	
延床面積	4,805 m ²	確認者	三宅毅	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184	100%
②建築物の取組み	138	95%
③上記+②以外の	46	95%
④上記+	0	95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	2.7
温熱環境	1.7
光・視環境	3.1
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.3
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.1
地域環境	2.3
周辺環境	3.0

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.1

③敷地内の緑化

2.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)

21.2 %

建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)

0.0 %

②資源の有効活用

2.6

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.31	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30			-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50			-	
3.2 敷地内温暖環境の向上				3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									2.9
LR1 エネルギー					0.40				3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m :0.73としている。	5.0	0.30			-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20			-	3.0
3 設備システムの高効率化				2.3	0.30			-	2.3
4 効率的運用				3.0	0.20			-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50			-	
集合住宅の評価				-	-			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				-	-			-	
LR2 資源・マテリアル					0.30				2.6
1 水資源保護				3.0	0.15			-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.63			-	2.4
2.1 材料使用量の削減			鉄骨SM490A使用。コンクリート設計基準強度F _c 24N/mm ²	3.0	0.09			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.32			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-	3.0	0.26			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.26			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.07			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		-	-			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22			-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68			-	
1 消火剤			粉末ABC消火器とし、断熱材(発泡剤)はA種1としてフロン類を用いな	-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境					0.30				2.8
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO ₂ 排出率は一般的な建物同等としている。	3.1	0.33			-	3.1
2 地域環境への配慮				2.3	0.33			-	2.3
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25			-	
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自		3.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	1.00			-	
2 振動				-	-			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

特別養護老人ホーム (仮称)三九園

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.1	0.10	
② 資源の有効活用				2.6
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:21.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 特別養護老人ホーム（仮）

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 利用者のアメニティ向上に配慮しながら、必要諸室を合理的にゾーニングさせ、かつ景観に配慮したデザイン・緑化計画を行う。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 原則、館内禁煙とし、内装仕上げ材は全てF☆☆☆☆品及び規制対象外材を使用している。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 居室1人あたりの室面積を多くとり、天井高は最低でも2.5mをとることにより、利用者のアメニティ向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場を確保しつつ、出来る限り敷地外周部に植栽を設けて、良好な景観になるように配慮している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 年間熱負荷係数【BPI _m 】を抑えた仕様としている。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 フロン・ハロンを用いない消火剤及び断熱材を採用している。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各階にダストシュートを設け、ゴミ置場を明確に分別することによって、敷地外に適切にゴミが搬出されるよう配慮している。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。